

第13回教授会議事録

日時 昭和57年9月9日(木)

開会午後0時59分 閉会午後6時08分

場所 医学部第一会議室

出席者 学部長外 26名

欠席者 12名 (内外国出張者 5名)

議 題

1. [redacted] 候補者選考委員会中間報告  
について

議長から、前回教授会の意向を踏まえ再度選考委

員会で検討したが、全会一致で同一講座からの候補

者を1名とすることができなかつた旨の報告があつた。

この取り扱いについて種々意見の交換がなされた結

果、委員会として [redacted] 候補予

定者として [redacted]

[redacted] の三氏を選考することが承認され、

9月16日(木)開催予定の臨時教授会で最終選

考を行うことが異議なく了承された。

なお、審議の過程において [redacted] については

教授から について

から、 については 教授から 各候補

予定者の履歴、研究業績等について詳細な紹

介があった。

2. [redacted] 昇任について

議長から [redacted] を

[redacted] 候補者として送考するに付いて諮

られ審議の結果、次回教授会において決定する

ととなった。

なお、審議の過程において [redacted] 教授から

[redacted] の履歴、研究業績等につき紹介があり、ついで

[redacted] 両教授から補足紹介があった。

3. 9月30日付け卒業者の認定について

松宮教授(教務副主任)から 標記に関する教務委員

会における審議の結果について説明があったので

議長から 本件について 別紙資料(1)にもとづき

諮られ 審議の結果、原案どおり

の卒業を認定した。

4. 昭和60年度以降の本学における入学者選抜制度  
についてのアンケート調査について

井上教授(入学者選抜制度に関するワーキンググループ

世話人)から標記に関するワーキンググループでの

検討結果及び<sup>(敬告)</sup>あり方委員会における審議の結果

について説明があったのを、議長から本件に

つき別紙資料(2)のとおり回答することによ

りて諮られ承りました。

5. アイヌ人骨資料について (追加議題)

議長から、去る9月4日付け北海道新聞に報道された

「アイヌ人骨資料返還」をめぐる件について報告があ

った。この件は北海道シタリ協会理事長より人体骨の

返還及び慰霊祭の実施等が申し入れられていたもの

であるが、本学部としてはアイヌ人体骨は非常に貴重な

学術研究資料であり、今後も保管を希望する旨を

述べ、慰霊祭の問題も含めて具体的に交渉を進

めることとなっている旨説明があり、了承された。

# アイヌ人骨資料返還を

## 道ウタリ協会、北大と交渉

### 昭和初期から 収集千数百体 貴重…「渋る」医学部

北大医学部がアイヌ人骨資料を返還する意向を示していることが、道ウタリ協会（以下、協会）と交渉していることが明らかになった。協会が保有しているアイヌ人骨資料は、昭和初期から収集されたもので、千数百体と推定されている。医学部は、これらの資料が貴重であるとして、返還に渋る姿勢を示している。

アイヌ人骨資料の返還をめぐっては、道ウタリ協会と北大医学部の間で交渉が続いている。協会は、昭和初期からアイヌ人骨資料を収集し、現在、千数百体と推定されている。医学部は、これらの資料が貴重であるとして、返還に渋る姿勢を示している。協会は、返還を求め、交渉を進めている。

北大医学部は、アイヌ人骨資料の返還を渋る姿勢を示している。協会は、返還を求め、交渉を進めている。協会は、昭和初期からアイヌ人骨資料を収集し、現在、千数百体と推定されている。医学部は、これらの資料が貴重であるとして、返還に渋る姿勢を示している。

アイヌ人骨資料の返還をめぐっては、道ウタリ協会と北大医学部の間で交渉が続いている。協会は、昭和初期からアイヌ人骨資料を収集し、現在、千数百体と推定されている。医学部は、これらの資料が貴重であるとして、返還に渋る姿勢を示している。

アイヌ人骨資料の返還をめぐっては、道ウタリ協会と北大医学部の間で交渉が続いている。協会は、昭和初期からアイヌ人骨資料を収集し、現在、千数百体と推定されている。医学部は、これらの資料が貴重であるとして、返還に渋る姿勢を示している。



# 「人の骨」の痛み、やっと

## アイヌ納骨堂建設

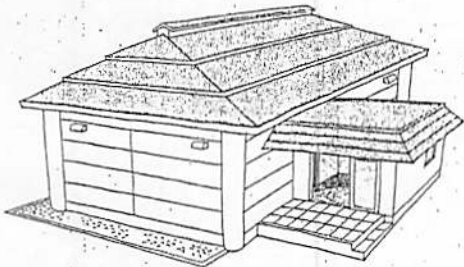
### 慰霊基金は目途立たず

### 北大に謝罪求める声もなお

「国家の偉人が歴史をたどる中で不幸の犠牲に成り果てた人々の骨を、ついに納骨堂に納めようとする。これは、アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。」

アイヌの歴史をたどる中で、アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。

納骨堂の完成予想図



北大医学部周辺の建設予定地

道新(朝刊) 5/2/8

道新(朝刊) 5/2/8

アイヌの歴史をたどる中で、アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。

アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。

アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。アイヌの人々の痛みを癒し、慰霊する第一歩である。

6. その他

1.) 旧 RIE センター 利用計画委員会 について

議長から、前回 教授会 (オノエ 回) で了承を得て

了 標記に 関する 委員会 委員 として 次のとおり 予定し

ている旨 諮ら れ、了承 された。

◎ 委員 名

基礎系 井上、児玉、今井、相沢、恩林  
の各教授

臨床系 宮崎、葛西、入江、都留の各教授

他に 学部長、病院長

2) 地域医療懇談会について

議長から、前回教授会(オ12回)で了承を得ている標記に関する懇談会の構成メンバーとして次のとおり予定している旨語られ、了承された。

◎ 構成員

基礎系 相沢、斎藤(和) 両教授

臨床系 中川、葛西、松田、松本、寺山、入江  
の各教授及び田辺、佐妹 両助教  
授

他に学部長、病院長

### 3) 会議報告

伊藤教授から 8月25日開催された文部省在外研究員候補者選考委員会の議事として 委員長の互選、候補者推せん日程等について報告があった。

議長から 9月8日開催された 部局長連絡会議の議事として 諸規程の制定、学生の体育施設、国際交流基金の募金等について報告があった。

### 4) 教務関係

・ 学友会運動会について 松宮教務副主任より 9月17日(金)に陸上競技場において開催されること及び休講措置等について報告があった。

5) 次回教授会開催日を 9月16日(木)としたい旨諮られた。承された。

第 13 回 教授会 出席者 調査 並びに  
 大学院 医学 研究科 委員会 出席者 調査

教 授 名				出 欠		代理出席者名
井 上	見 玉	伊 藤	教 授	出	欠	定員数 $24 \times \frac{2}{3} = \frac{22.2}{23}$ 出席者 23 名 欠席者 1 名 (内相欠者 5 名)
伊 藤	重 藤	加 平	教 授	出	欠	
加 平	今 井	相 沢	教 授	出	欠	
相 沢	恩 村	飯 田	教 授	出	欠	
飯 田	斎 藤	菅 野	教 授	出	欠	
菅 野	高 取	高 藤	教 授	出	欠	
高 藤	石 井	中 川	教 授	出	欠	
中 川	安 崎	葛 田	教 授	出	欠	
葛 田	田 西	辺 野	教 授	出	欠	
辺 野	松 戸	一 松	教 授	出	欠	
一 松	松 寺	三 山	教 授	出	欠	
三 山	小 山	入 下	教 授	出	欠	
入 下	古 川	都 留	教 授	出	欠	
都 留	大 浦	阿 岸	教 授	出	欠	
阿 岸	小 林	大 里	教 授	出	欠	
大 里	牧 田	葛 卷	教 授	出	欠	
葛 卷	松 有	山 本	教 授	出	欠	
山 本	森 川	教 授	出	欠		

(決 議) 昭和 年 月 日

(起 案) 昭和 57 年 9 月 9 日

庶務掛長  
人事掛長  
教務掛長

学部長

事務長

事務長補佐



下記のとおり通知してよろしいか伺います。

昭和 年 月 日

各 教 授 宛

学 部 長 名

第 八 回 教授会の開催について (通知)  
~~第 八 回~~

標記教授会を下記により開催いたしますから御出席願います。

記

- 1. 日 時 昭和 57 年 9 月 9 日 (木)  
大学院医学研究科委員会終了後
- 1. 場 所 医学部第一会議室
- 1. 議 題
  1. [Redacted] 候補者送考委員会中向  
報告について
  2. [Redacted] 昇任について
  3. 9月30日付け卒業者の認定について
  4. 昭和60年度以降の本学における入学者選抜制度  
についてのアンケート調査について
  5. その他